

法人の概要

建学の精神

本学苑は仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成することを建学の精神としている。



教育方針

短期大学

本学では「教育基本法」ならびに「学校教育法」にのっとり、本学の建学の精神・教育の理念に基づいて、少子化・子育て困難、超高齢化、そしてIT化が進行する現代社会からの要請にこたえ、高度な専門知識や技術・技能を身につけて「やわらか心」で地域社会に貢献できる保育者、介護福祉士、オフィスワーカーを育成することを教育目標としている。



中・高等学校

真宗高田派の宗門立学校として、言行忠信・表裏相応を校訓とし、仏教教育による人間味の豊かさを深め、規律精神を基とした行動力の育成と基礎学力の充実錬磨につとめ、広い視野から社会に貢献できる人材の養成をめざした教育を行っている。また、中学校・高等学校一貫六年制コースを設置し、高い水準の学力と知的な生徒を育成している。



設置する学校、定員及び現員

- ◆ 高田短期大学 三重県津市一身田豊野 195
- ◆ 高田高等学校 三重県津市一身田町 2843
- ◆ 高田中学校 三重県津市一身田町 2843

(令和2年5月1日現在)

高田短期大学					
学科名	入学定員	収容定員	1年生	2年生	合計
子ども学科	150名	300名	131名	118名	249名
キャリア育成学科	100名	200名	95名	92名	187名
〔 オフィスワークコース	〔 60名	〔 120名	〔 69名	〔 61名	〔 130名
〔 介護福祉コース	〔 40名	〔 80名	〔 26名	〔 31名	〔 57名
合計	250名	500名	226名	210名	436名

高田中・高等学校						
	募集定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	合計
高田高等学校	560名	1,728名	590名	579名	606名	1,775名

(学則定数 730名)(3ヵ年計 2,190名)

	募集定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	合計
高田中学校	190名	550名	205名	193名	207名	605名

(学則定数 240名)(3ヵ年計 720名)

役員・評議員

(令和2年10月1日現在)

理事		定数10名 実数9名	
区分	氏名	現職等	
第1号 宗務総長	増田 修一	真宗高田派 宗務総長	
第2号 学苑長 短大学長 中・高校長	高臣 文祥	学校法人高田学苑 理事長 (学苑長)	
	梅林 久高	高田短期大学 学長	
	鷺尾 尚史	高田中・高等学校 校長	
第3号 評議員	井村 正勝	井村屋グループ (株) シニア・フェロー	
	永井 玲子	医療法人永井病院 理事	
	志田 行弘	三重テレビ放送 (株) 相談役	
	岩崎 克彦	医療法人思源会 常務理事	
	松田 英明	三重牛セキ販売 (株) 代表取締役社長	

監事		定数2名 実数2名	
区分	氏名	現職等	
監事	下津 和文	下津醤油 (株) 代表取締役会長	
	山中 利之	山中利之税理士事務所 公認会計士・税理士	

評議員		定数21～25名 実数22名	
区分	氏名	現職等	
第1号 宗務総長	増田 修一	真宗高田派 宗務総長	
第2号 学苑長 短大学長 中・高校長	高臣 文祥	学校法人高田学苑 理事長 (学苑長)	
	梅林 久高	高田短期大学 学長	
	鷺尾 尚史	高田中・高等学校 校長	
第3号 法人職員	鷺尾 敦	高田短期大学 キャリア育成学科長	
	福西 朋子	高田短期大学 子ども学科長	
	宇河 晴美	高田中・高等学校 副校長	
	高梨 正	高田中・高等学校 教頭	
第4号 功労者	井村 正勝	井村屋グループ (株) シニア・フェロー	
	岩崎 克彦	医療法人思源会 常務理事	
	千草 篤麿	(福) 高田真善会 報徳園 施設長	
	小柴 弥生	小柴産業 (株)	
第5号 卒業者	松田 英明	三重牛セキ販売 (株) 代表取締役社長	
	倉田 栄治	(株) 津ドライビングスクール 代表取締役	
	伊藤 博康	(有) 平治煎餅本店 代表取締役	
	稲田 直子	なし	
第6号 本山総務	弓削 弘嗣	(宗) 真宗高田派総務	
第7号 学識経験者	永井 玲子	医療法人永井病院 理事	
	志田 行弘	三重テレビ放送 (株) 相談役	
	雲井 敬	三重交通グループホールディングス 監査役	
	浜田 吉司	(株) マスヤグループ本社 代表取締役	
	山田 瞳	楠井法律事務所 弁護士	

教職員数

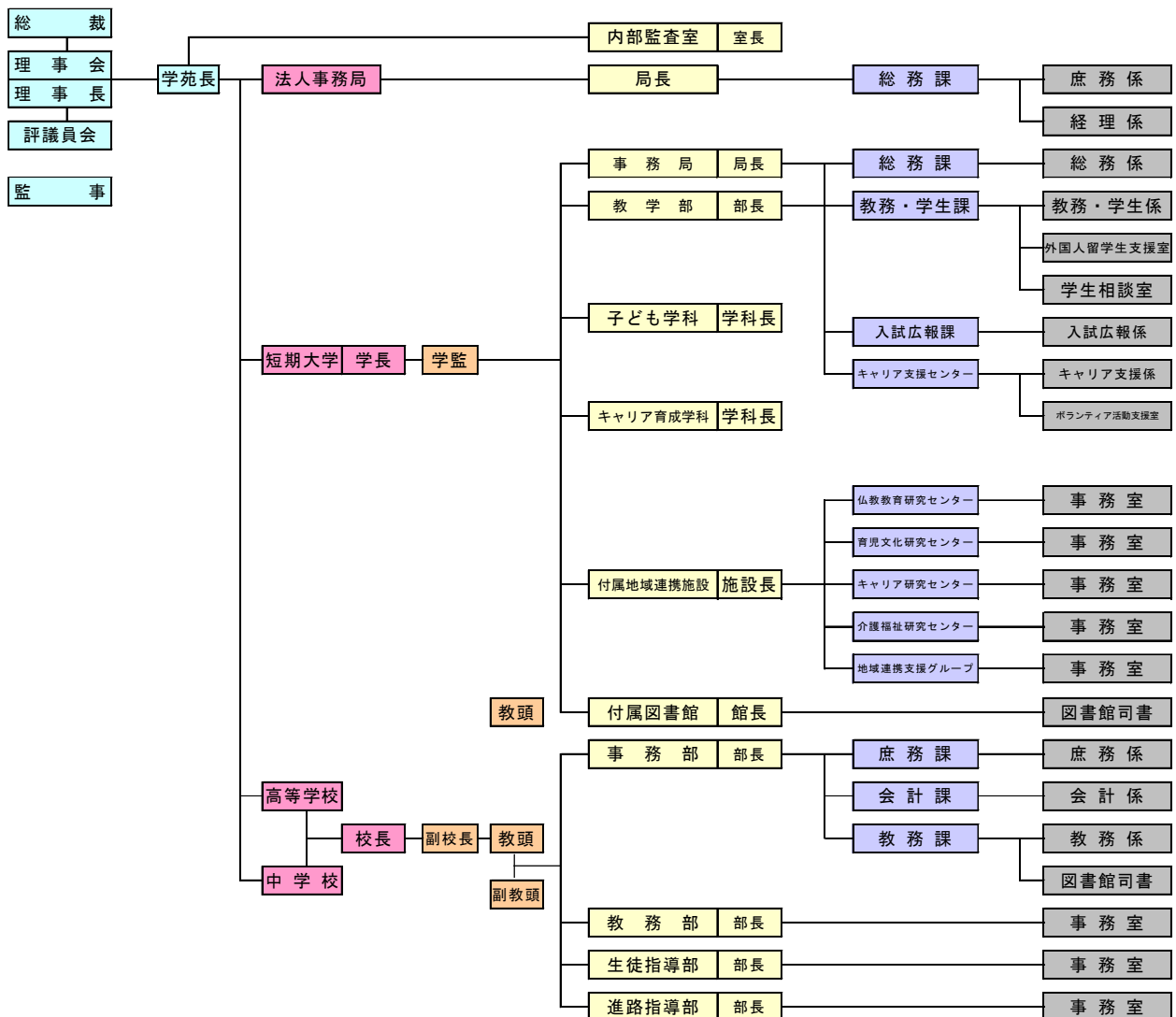
(令和2年8月1日現在)

		教 員		職 員		合 計
		本務教員	兼務教員 嘱託・非常勤等	本務職員	兼務職員 嘱託・非常勤等	
本 部		—	—	6名	2名	8名
短 期 大 学	子ども学科	15名	29名	15名	11名	70名
	キャリア育成学科	11名	40名	8名	8名	67名
	〔 オフィスワークコース 介護福祉コース	〔 7名 〔 4名	〔 21名 〔 19名	〔 6名 〔 2名	〔 4名 〔 4名	〔 38名 〔 29名
高等学校		95名	37名	9名	11名	152名
中学校		28名	14名	3名	0名	45名
合 計		149名	120名	41名	32名	342名

(注) 学苑長は学苑本部の本務職員に、短大学長は子ども学科の本務教員に含む。

また、短大の兼務教員数には非常勤講師の後期採用者も含む。

組織構成図



校舎敷地及び建物等の概要

区分		専用面積㎡	計面積㎡	所在地	権利の所属	備考
短期大学用地	校舎敷地	7,399	7,399	津市一身田豊野	自己所有	
	運動場用地	5,921	5,921	〃	〃	
	学生用駐車場用地	2,392	2,392	〃	〃	
	その他	3,279	3,279	〃	〃	緑地等
	計	18,991	18,991			
上記以外の学校用地	中学校校舎敷地	1,274	1,274	津市一身田町他	自己所有	内 借用588㎡
	高等学校校舎敷地	15,180	15,180	〃	〃	内 借用578㎡
	中学校運動場用地	14,481	14,481	〃	〃	
	高等学校運動場用地	49,169	49,169	〃	〃	内 借用3,275㎡
	その他	9,875	9,875	〃	〃	内 借用1,663㎡
	計	89,979	89,979			
合 計		108,970	108,970			
校地以外の土地		61,913	61,913	津市芸濃町河内	自己所有	山 林

短期大学の部

区分	面積㎡	室数	構 造	権利の所属
1号館	3155.60	33	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建	自己所有
2号館	4163.75	38	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	〃
3号館	1743.64	15	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
音楽棟	858.82	23	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
図書館	803.19	8	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
体育館	1983.96	15	鉄筋コンクリート造アルミニウム板葺3階建	〃
部室	31.68	2	鉄骨造2階建	〃
その他	16.98			〃
計	12757.62	134		

法人本部、高等学校・中学校の部

区分	面積㎡	室数	構 造	権利の所属
本館	4721.83	36	鉄筋コンクリート造陸屋根7階建	自己所有
1号館	2722.10	25	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
2号館	2155.05	21	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
3号館	2609.31	13	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
4号館	3125.59	16	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
5号館	4113.15	29	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
管理棟1	207.23	5	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
管理棟2	98.88	4	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
厩舎棟	396.00	8	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
第1体育館	3819.78	16	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
第2体育館	1889.03	12	鉄筋コンクリート造切妻屋根3階建	〃
第3体育館	2081.54	6	鉄筋コンクリート・鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建	〃
クラブハウス1	422.10	29	鉄筋コンクリート造2階建	〃
クラブハウス2	162.00	11	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	〃
施設管理棟	122.40	4	鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平屋建	〃
その他	152.38			〃
計	28798.37	235		
合 計	41555.99	369		

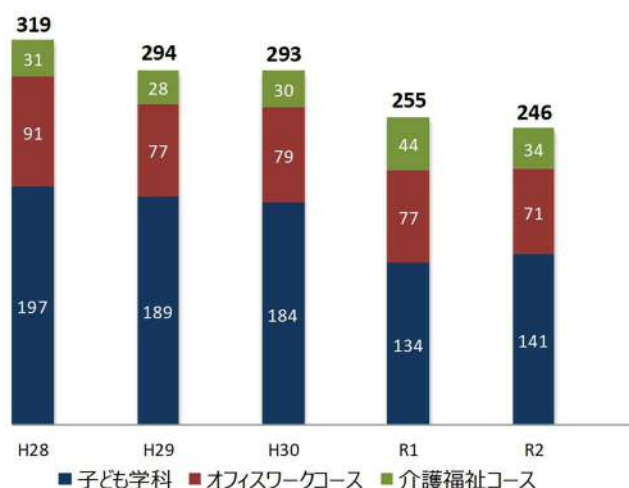
備考（その他／機械室6.62㎡ 倉庫東、西47.95㎡ 渡り廊下67.50㎡ テニスコート部室30.31㎡）

学生・生徒 志願者数 推移

短期大学

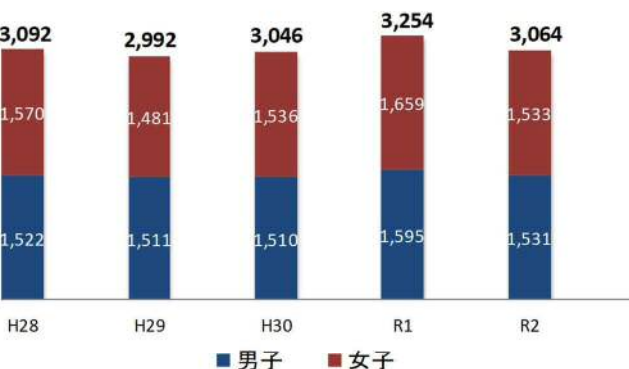
(令和2年5月1日現在)

	H28	H29	H30	R1	R2
子ども学科	197	189	184	134	141
キャリア育成学科 オフィスワーク コース	91	77	79	77	71
キャリア育成学科 介護福祉コース	31	28	30	44	34
計	319	294	293	255	246



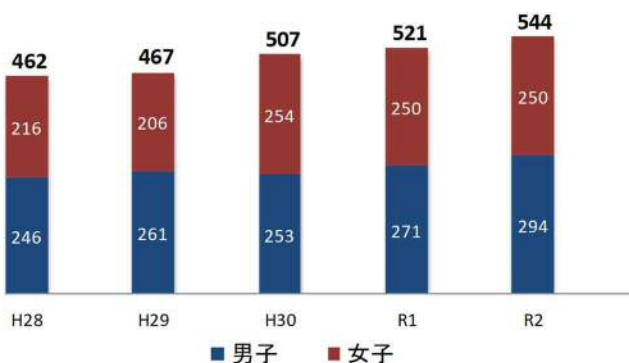
高等学校

	H28	H29	H30	R1	R2
男子	1,522	1,511	1,510	1,595	1,531
女子	1,570	1,481	1,536	1,659	1,533
計	3,092	2,992	3,046	3,254	3,064



中学校

	H28	H29	H30	R1	R2
男子	246	261	253	271	294
女子	216	206	254	250	250
計	462	467	507	521	544



学生・生徒 在籍者数推移表

短期大学

(令和2年5月1日現在)

区分	項目	H28	H29	H30	R1	R2	
子ども学科	在學生数	313	310	321	283	249	
	収容定数	300	300	300	300	300	
	充足率	104%	103%	107%	94%	83%	
キャリア育成学科	在學生数	170	183	172	183	187	
	収容定数	200	200	200	200	200	
	充足率	85%	92%	86%	92%	94%	
オフィスワークコース	在學生数	130	141	132	133	130	
	収容定数	120	120	120	120	120	
	充足率	108%	118%	110%	111%	108%	
介護福祉コース	在學生数	40	42	40	50	57	
	収容定数	80	80	80	80	80	
	充足率	50%	53%	50%	63%	71%	
計	在學生数	483	493	493	466	436	
	収容定数	500	500	500	500	500	
	充足率	97%	99%	99%	93%	87%	

中・高等学校

(令和2年5月1日現在)

区分	項目	H28	H29	H30	R1	R2	
高等学校	在学生数	1,783	1,790	1,814	1,782	1,775	
	収容定数	1,714	1,728	1,732	1,728	1,704	
	充足率	104%	104%	105%	103%	104%	
中学校	在学生数	561	573	599	604	605	
	収容定数	560	540	540	550	560	
	充足率	100%	106%	111%	110%	108%	
計	在学生数	2,344	2,363	2,413	2,386	2,380	
	収容定数	2,274	2,268	2,272	2,278	2,264	
	充足率	103%	103%	106%	105%	105%	

学生・生徒 進路状況

卒業生・進学者・就職者数

(令和3年5月1日現在)

	子ども学科	キャリア育成学科		合計	摘要
		オフィスワーク	介護福祉		
卒業生	118	60	30	208	
就職希望者	114	60	28	202	
就職決定者	113	60	28	201	
未内定者	1	0	0	1	
進学者	0	0	0	0	大学等
その他	4	0	2	6	家事従事等

過去3ヶ年の公務員試験合格者

●子ども学科

市町名	職種	現役学生			卒業生			計		
		R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30
津市	保育士・幼稚園教諭	3	4	3	4	5	3	7	9	6
四日市市	保育士	2	1	1	0	0	0	2	1	1
伊勢市	保育士	0	2	0	0	0	0	0	2	0
松阪市	保育士・幼稚園教諭	8	12	7	0	1	0	8	13	7
鈴鹿市	保育士・幼稚園教諭	1	2	2	1	0	0	2	2	2
亀山市	保育士・幼稚園教諭	0	0	0	1	0	0	1	0	0
鳥羽市	保育士	3	2	1	1	0	1	4	2	2
志摩市	保育士・幼稚園教諭	0	1	0	0	0	5	0	1	5
東員町	保育士・幼稚園教諭	0	0	1	0	0	1	0	0	2
伊賀市	保育士・幼稚園教諭	1	1	0	0	0	0	1	1	0
名張市	保育士・幼稚園教諭	1	1	0	0	0	0	1	1	0
菰野町	保育士・幼稚園教諭	0	1	0	0	0	0	0	1	0
川越町	保育士	0	1	0	0	0	0	0	1	0
多気町	保育士	0	0	1	0	0	1	0	0	2
明和町	保育士・幼稚園教諭	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大台町	保育士	0	1	3	0	2	0	0	3	3
玉城町	保育士	0	3	0	0	0	1	0	3	1
度会町	保育士	0	1	0	0	0	0	0	1	0
大紀町	保育士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
御浜町	保育士	0	0	0	0	1	0	0	1	0
弥富市	保育士	0	1	1	0	0	0	0	1	1
その他県外	保育士・幼稚園教諭	0	0	0	0	0	1	0	0	1
計		19	34	21	7	9	13	26	43	34

●キャリア育成学科 オフィスワークコース

採用試験名	職種	現役学生			卒業生			計		
		R2	R1	H30	R2	R1	H30	R2	R1	H30
県・市町	行政	1	0	2	0	0	0	1	0	2

主な就職先・配属先

(令和3年5月1日現在)

子ども学科		エンゼル幼稚園、高田幼稚園、津西幼稚園、まつさか幼稚園、いそやま保育園、えがお保育園、志登茂保育園、高田保育園、わかすぎ保育園、亀山愛児園、こどもの杜ゆたか園、津カトリックこども園、ほうりん認定こども園、里山学院、みどり自由学園、市町立幼稚園・保育所 他
キャリア育成学科	オフィスワーク	三十三フィナンシャルグループ、(株)百五銀行、JA共済連、朝日ガスエナジー(株)、(株)川崎ハウジング、(株)サイネックス、百五不動産調査(株)、(株)スズキ自販三重、三重いすゞ自動車(株)、三重ダイハツ販売(株)、三重トヨタ自動車(株)、三重トヨペット(株)、遠山病院、(株)ニチイ学館、丸之内まつなが眼科、松阪市 他
	介護福祉	あけあい会、永甲会、佐藤病院、聖マッテヤ会、高田真善会、富田浜病院グループ、ヤナセメディケアグループ、ライフ・テクノサービス 他

高等学校

卒業生・進学者・就職者数

		男	女	計
三年制	I類	89	121	210
	II類	114	108	222
六年制		110	62	172
計		313	291	604

進学合格者のべ数

		三年制				小計	六年制		小計	合計
		I類		II類			現	卒		
		現	卒	現	卒					
大学 四年制	国立	1	0	8	5	14	75	16	91	105
	公立	0	0	8	0	8	6	1	7	15
	私立	118	3	262	63	446	277	140	417	863
文部科学省所管外		0	0	0	0	0	1	1	2	2
海外		0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大	公立	8	0	9	2	19	0	0	0	19
	私立	42	0	15	0	57	0	0	0	57
国公立各種・専門学校		5	0	4	0	9	0	0	0	9
私立各種・専門学校		64	0	23	1	88	0	0	0	88
就職		3	0	2	0	5	1	0	1	6
合計		241	3	331	71	646	360	158	518	1164

主な進学先

(令和3年4月現在)

国公立大学 120名		(医学科 19)	
東京大学 7	大阪大学 1	北海道大学 2	筑波大学 4
東京医科歯科大学 (医学科 1)	京都大学 (医学科 1)	東北大学 (医学科 0)	三重大学 (医学科 13)
名古屋大学 (医学科 1)	福井大学 (医学科 0)	神戸大学 (医学科 2)	広島大学 (医学科 0)
私立大学 863名		(医学科 37)	
慶應義塾大学 10	中央大学 21	関西大学 12	南山大学 8
明治大学 8	北里大学 4	近畿大学 51	中京大学 27
早稲田大学 13	上智大学 3	同志社大学 26	名城大学 39
東京理科大学 29	立命館大学 61	愛知医科大学 9	法政大学 3
青山学院大学 7	東海大学 6	京都産業大学 6	龍谷大学 25
関西学院大学 7	愛知大学 34	皇學館大学 73	鈴鹿医療科学大学 61
短期大学 76名			
高田短期大学 43	三重短期大学 19	修文大学短期大学部 4	名古屋文化短期大学 3
専修学校 97名			
三重看護専門学校 12	津看護専門学校 5	ユマニテク医療福祉大学校 7	松阪看護専門学校 5

事業実績の概要

理事会・評議員会・監事会・内部監査委員会の開催状況

令和2年度は高田学苑寄附行為に基づき、計4回の理事会、3回の評議員会を開催しました。また、高田学苑では私立学校に義務付けられている監査法人及び監事の監査に加え、内部監査委員による監査を行い、学校法人におけるガバナンスが適切に機能しているか、外部及び内部から監督・指導を受けています。令和2年度に行われた各会の開催日と議題は以下になります。

理事会	第1回	令和2年 5月29日(金)	令和元年度決算(案)の承認について 任期満了に伴う監事の選出について
	第2回	令和2年 5月29日(金)	令和元年度決算(案)の承認について 学校法人高田学苑勤務規則の一部改正(案)について
	第3回	令和2年11月 6日(金)	令和2年度第1回収支補正予算(案)について 高田短期大学学則の一部改正(案)について
	第4回	令和3年 3月26日(金)	令和2年度第2回収支補正予算(案)について 令和3年度収支当初予算(案)について 学校法人高田学苑給与規程の一部改正(案)について
評議員会	定 時	令和2年 5月29日(金)	令和元年度決算(案)の承認について 任期満了に伴う高田学苑理事の選任について
	臨 時	令和2年11月 6日(金)	令和2年度第1回収支補正予算(案)について
	定 時	令和3年 3月26日(金)	令和2年度第2回収支補正予算(案)について 令和3年度収支当初予算(案)について
監事会	決算期	令和2年 5月27日(水)	令和元年度短期大学及び中高等学校教学監査 令和元年度事業実績報告 令和元年度決算審査関係 質疑応答
	上半期	令和2年10月28日(水)	令和2年度短期大学及び中高等学校概要報告 令和2年度第1回補正予算書及び現預金状況 令和2年度事業実績報告(中間) 質疑応答及び実査
内部監査委員会	第1回	令和2年 5月22日(金)	令和元年度短期大学及び中高等学校教学監査 令和元年度事業実績報告 令和元年度決算概要報告 質疑応答
	第2回	令和2年10月23日(金)	令和2年度短期大学及び中高等学校概要報告 令和2年度事業実績報告(中間) 現金、預金及び有価証券の状況 学苑管理運営等について

監査法人監査報告

監査法人監査		監査法人名：五十鈴監査法人	
4月 6日（月）現金、通帳、証書の実査		12月 4日（金）令和2年11月までの取引記録	
5月20日（水）令和元年度決算監査①		2月22日（月）令和3年1月までの取引記録	
5月21日（木）令和元年度決算監査②		2月24日（水）令和3年1月までの短大取引記録	
6月 2日（火）令和元年度決算監査③		3月 3日（水）令和3年2月までの取引記録	
9月29日（火）令和2年8月までの取引記録			

安全管理への取り組み

AED（自動対外式除細動器）設置（10台）

短期大学	
1号館 1階正面玄関	体育館 2階ホール
中・高等学校	
本館 正面玄関（地域住民への対応）	西グラウンド管理棟 1 2階管理室
4号館 1階保健室	西グラウンド管理棟 2 2階管理室
第1体育館 2階体育教官室	西グラウンド厩舎棟 1階管理室前（外部）
多目的グラウンド クラブハウス横倉庫	第3体育館 1階ロビー



地域避難所（体育館）の指定・防災倉庫の設置

高田学苑は津地域避難所として指定されています。これに伴い短期大学及び中・高等学校に防災倉庫を設置し、備蓄品の保管をしています。

生徒・教職員は勿論のこと、地域住民の皆様方の災害時における危険回避のための避難が円滑に行われるように、避難場所の周知を行っています。



非常食等の備蓄

東海地域は、東海・東南海・南海の複合地震の発生リスクに対する懸念も高く、また近年では、台風や豪雨による風水災害が全国各地で頻発しており、いつ、どこで起こるか分からない災害に備えるべく、本年度も新入の学生生徒分の非常食等備蓄品「白い小箱」を購入しました。

この「白い小箱運動」は単なる非常食等の備蓄に留まらず、小箱の詰め込み・搬入作業を行う障がい者の方々の就労支援や、非常食等備蓄品を学生生徒が卒業時に寄付する事で、海外で援助を必要としている人たちや周辺地域の方々への援助など、社会貢献活動として意義のあるものとなっています。



緊急地震速報受信システムの運用

平成22年12月より中・高等学校及び短期大学に緊急地震速報受信システムを導入しています。これは震度5弱以上の地震が発生した場合、津地区に大きな揺れが到達する前に、校内に一斉放送で知らせることにより、生徒及び教職員の安全を確保するものです。

防災訓練では実際にこのシステムを利用して、震度5弱の地震を想定した放送を流し、生徒・教職員及び地域住民の方の避難訓練に役立てています。



ポケット防災ガイドの配布

大規模な地震が発生すると予想されている昨今、地震発生時に学生生徒及び教職員がスムーズに避難できるように災害発生時の対応をマニュアル形式で記載した名刺サイズの防災ガイドを、短期大学・中高等学校別に作成し、新入生と本年度採用教職員に配布しました。

近年は地震のみならず台風や大雨などによる甚大な被害も全国各地で起きていることから、地震・津波・風水害・火災それぞれに対応できるよう色分けをして記載しています。

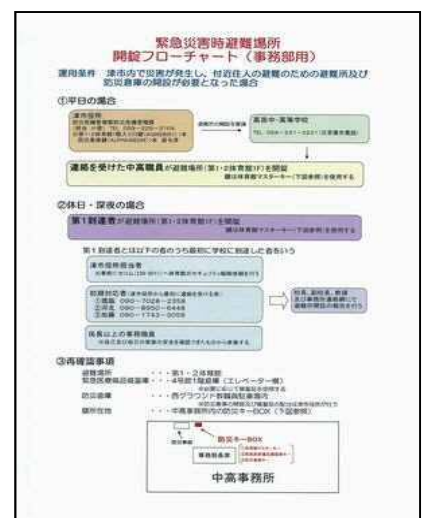
2021年3月には東日本大震災から10年の節目を迎えるということもあり本学としても更なる防災意識の向上に向け、防災ガイドの見直しを図ります。県が運営する防災情報サイトである「防災みえ」の情報更新や校舎周辺の津波被害想定マップを追加するなど情報更新を行い、更に見やすくすることで生徒が活用しやすいようにしました。学生生徒及び教職員はこの防災ガイドを常に携帯し、今後災害発生時の対応に役立ててくれるよう啓蒙活動にも力を入れていきます。



緊急災害時避難場所開設フローチャート

中・高等学校が津市の地域防災一次避難所に指定され、防災倉庫が設置されたことにより、高田学苑においても周辺地域の避難場所としての責務に応える必要があります。

緊急災害時の混乱が予想される状況において、迅速に避難所を開設するために、「緊急災害時避難場所開設フローチャート」を掲示しています。このチャートを事務職員の意識付けに役立て、緊急災害時における迅速な避難場所の開設に役立てていきたいと思えます。



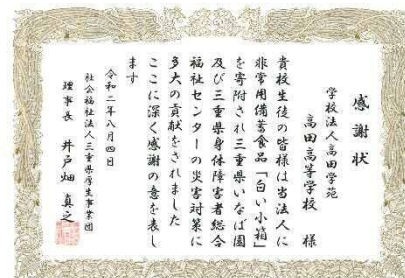
非常食等備蓄品（白い小箱）の寄付

本学苑では、日本非常食推進機構と締結した「災害用物資を活用した防災活動に関する協定」に基づき、学生・生徒が卒業時に白い小箱を寄付することで地域の方々や食糧援助を必要とする海外等へ援助を行う「白い小箱運動」に参加しています。

毎年継続的に行っている白い小箱の寄付ですが、今年度は社会



福祉法人三重県厚生事業団へ261個、津市健康福祉部へ189個、松阪市健康福祉部へ355個、三重県子ども・福祉部へ200個の寄付をしました。毎年、短大自治会の学生や中高生徒会の生徒が市や事業団等の代表者の方を訪問し直接手渡しをしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により訪問は自粛となりましたが、各寄付先から礼状を頂いたことは学生・生徒に周知され、自身たちの活動が地域社会へ貢献していることを自覚する機会となりました。寄付した白い小箱はそれぞれの機関から障がい者及び児童養護施設や生活困窮者へ届けられます。



新型コロナウイルス感染症対策

教職員の労働体制

国内での感染拡大に伴い、3月2日に政府より全国の小・中・高等学校へ一斉臨時休校が要請され、また4月16日からの全国的な緊急事態宣言の発令を受けて本学としても5月31日までを臨時休校としました。教職員については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から密閉・密集・密接の3密を避けるため、時短勤務及びテレワークへと変更し、教職員の出勤が最小限となるよう対応を行うとともに出勤日数に関わらず休業補償をしました。また、8月以降は収束傾向にあった感染状況が11月から急速に再拡大し、年明け1月には首都圏や隣県においても緊急事態宣言の対象区域となり、三重県としても警戒宣言が出されました。これに伴い、教職員の感染防止対応と入試の実施にあたり、入試の準備期間である試験日前の1週間を臨時休校とし厳格な感染予防対応を行いました。

健康観察

文部科学省より示されている新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営のためのガイドラインに基づき、教職員・生徒ともに学習支援アプリ「Classi」を使用して日々の健康管理を行っています。スマートフォンやパソコンからアクセスし、「体温」、「体調」、「家族の発熱」の3項目について回答します。回答データは一括して集計管理され、日々の状況を確認しています。



教職員へのマスク支給

新型コロナウイルス感染症予防のひとつとして、外出時のマスク着用や手指消毒用アルコールによる消毒が励行されています。国内で流行が拡大した3月からマスクや手指消毒用アルコール等の流通が少なくなり、入手が困難な状況が続いていたことや無症状の感染者もいることから、個人が油断せず感染を防ぐ意識を持つことが大切であるため、常勤の教職員全員にマスク1箱を学苑より配布しました。



教職員の健康管理体制

健康診断・任意検診

本学は平成23年度より夏期休暇中に健康診断を実施しています。令和2年度は8月8日（土）、11日（火）、17日（月）の3日間で開催しました。学校保健安全法、結核予防法、労働安全衛生法などで定められた検査項目を遵守し、教職員213名が受診しました。コロナ禍での検診となりましたが、三重県健康管理事業センターの協力のもと3密を避け十分な感染防止対策をしたうえで充実した検診を実施することができました。これまでの胃・大腸・前立腺・卵巣がん検査や腹部エコーや乳房エコーは任意で個別もしくはセット受診を継続し、今年度としてはこれに加えて膵臓がんリスクを測定するCA19-9検査や消化器系がんリスクを測定するCEA検査といった血液検査、そして胃炎や胃がんリスクとなるピロリ菌検査が任意で受診可能となりました。また、昨年度からの取り組みである巡回型人間ドックについても昨年を上回る受診希望がありました。



より詳細な検査を受けることで教職員が自身の健康について向き合う機会となるよう努めています。検査結果は個人に直接通知され、教職員の健康管理に役立てると共に、この結果をもとに高田学苑産業医である岩崎病院に健康管理に役立つ適切な指導・助言を行っていただいております。

ストレスチェック

労働安全衛生法の改正により平成27年12月から事業所に義務付けられ、メンタルヘルス不調を未然に防ぐ目的から今年度は9月1日（火）より一ヶ月間、ストレスチェックをウェブ上で実施しました。教職員は質問項目に回答し、結果は産業医の先生にデータで送られ、医師などの実施者がストレスの程度を評価し必要に応じて教職員自身のストレスへの気づきを促すとともに職場環境の分析と改善に繋がっていきます。

インフルエンザ予防接種

平成28年度から毎年実施しております学苑内での予防接種ですが、今年度も三重県健康管理事業センターに来校いただき、11月9日（月）、11月10日（火）の2日間にて実施しました。予防接種の費用についてはこれまで同様に学苑が一部負担し、希望の130名が接種を受けました。

教職員の表彰

特別表彰

中・高等学校	10月28日（水）	計 2名
--------	-----------	------

永年勤続表彰

短期大学	11月9日（月）	計 1名
------	----------	------

10年勤続	1名
-------	----

中・高等学校	10月28日（水）	計 22名
--------	-----------	-------

35年勤続	2名	25年勤続	6名
-------	----	-------	----

20年勤続	4名	15年勤続	6名
-------	----	-------	----

10年勤続	4名
-------	----

教職員の異動状況

令和2年度に採用・退職となった教職員は以下のとおりです。

		採 用			退 職	
		新規採用	再雇用	任用替	再雇用	完全退職
短期大学	教授		2		1	1
	准教授					
	助教					
	本務職員	1		2		
	特任教授					
	特任講師	1				
	特任助教					
	嘱託職員	2				1
	非常勤職員					
中・高等学校	教諭	1	1	10	5	
	本務職員			2		1
	ALT			1		
	講師					
	講師嘱託	5				
	嘱託職員	2				1
	非常勤講師	2	5			14
	非常勤職員	1				1

給付型奨学金・授業料等減免（助成）

高田学苑では、保護者や学生の経済的な負担を軽減する目的から、各種奨学金・授業料等減免制度を設けています。なお、これらの奨学金は給付型であり、すべて返済不要です。

高田短期大学介護福祉士就労予定者奨学金	
対 象	キャリア育成学科介護福祉コース学生
目 的	建学の精神に照らし、特に学業・人物に優れた学生で卒業後介護施設に就職する予定であるすべての学生（外国人留学生を除く）を支援する。
決定者	14名（1年生3名、2年生11名）
奨学金額	2,800,000円（一人あたり年額20万円給付）
高田短期大学奨学金私費外国人留学生授業料等減免措置	
対 象	高田短期大学に在学する私費外国人留学生
目 的	授業料・施設設備整備費・教育充実費等の経済的負担を減免する。
決定者	30名（減免30名（減免率50%））
奨学金額	11,980,000円

短期大学入学金免除制度

高田高等学校を卒業し高田短期大学に入学する場合、入学金（28万円）が免除される制度もあります。過去3カ年の高田高等学校からの進学者数は以下のとおりです。

	平成30年度入学	令和元年度入学	令和2年度入学
人 数	38名	37名	36名

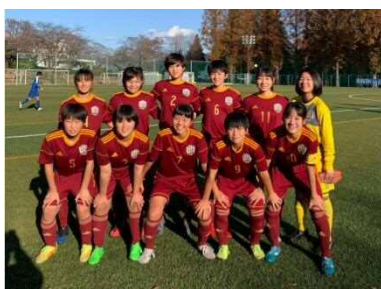
高田学苑 クラブチーム事業報告

2020年度 みえ高田FC

平成27年度に県内の中学生世代を対象とした女子サッカーのクラブチームとして設立され、中学・高校・短期大学のおおむね8年間の長期的期間の中でサッカーを通じて優れた人材を育成し、県内の企業へ排出するとともに、短期大学と企業の連携により次世代のサッカー選手育成を目的として活動を続けています。平成28年度より県内リーグ等へ参戦し、平成30年度には県内リーグで上位にランクイン、また全日本U-15女子サッカー選手権大会の東海大会に出場するまでに成長しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響で大会やリーグ戦が中止となり、6月から練習が再開され、ようやく8月からリーグ戦や大会が順次開催となりました。試合へのモチベーションを保つことも難しいシーズンとなりましたが、リーグ戦では第2位、大会では白星を挙げており、来年度に向けて更に勢いをつけていきます。

【 試合日程・試合結果一覧 】

大会名	対戦相手	日時	結果
U-15女子サッカーリーグ2020三重	スズカグローリー・伊勢FC Puro合同チーム	8月1日(土)	○ 11-0
第25回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会三重県予選 準決勝	伊賀FCノーステライト	9月20日(日)	○ 2-0
第25回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会三重県予選 決勝	楠クラブレディース	9月22日(火)	● 0-3
2020年三重県女子サッカーリーグ第1節	ヴィアティン三重レディースユース	10月17日(土)	○ 3-0
2020年三重県女子サッカーリーグ第2節	高田高校	10月18日(土)	▲ 1-1
2020年三重県女子サッカーリーグ第3節	鈴鹿グローリー	11月8日(日)	○ 1-0
2020年三重県女子サッカーリーグ第4節	伊勢FC Puro	11月15日(日)	○ 7-0
2020年三重県女子サッカーリーグ第5節	伊賀FCノーステライト	11月29日(日)	▲ 1-1
JFALレディースサッカーフェスティバル	津田学園高校	令和3年1月9日(土)	○ 2-1
JFALレディースサッカーフェスティバル	四日市南高校B	令和3年1月9日(土)	○ 12-0
2020年三重県女子サッカーリーグ第6節	四日市西高校	令和3年1月10日(日)	○ 6-0
U-15女子サッカーリーグ2020三重	楠クラブレディース	令和3年1月16日(土)	▲ 1-1
U-15女子サッカーリーグ2020三重	伊賀FCノーステライト	令和3年2月7日(日)	○ 2-1
U-15女子サッカーリーグ2020三重	ルビナ四日市	令和3年2月23日(火)	○ 2-0
U-15女子サッカーリーグ2020三重	ヴィアティン三重レディースユース	令和3年3月13日(土)	○ 7-0



2020年度 みえ高田VC Sala

平成28年度に県内初の社会人バレーボールチームとして発足し、2021年の三重とこわか国体への出場も視野に入れ、大学卒業後も活躍できる社会人選手を育成すると共に県内の女子バレーボールの発展を目標に活動を続けています。春高バレー三重県大会で幾度も優勝へ導いた実績のある秋津修監督の指導のもと



活動し、昨年度は全国大会3位に輝くといった成績を収めるまでに成長しましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により試合はすべて中止となり、練習を積み重ね翌年度へ備える1年となりました。翌年に迫る三重とこわか国体やVリーグ入りを目指し、男子サッカー・バレーボールチームを運営するヴィアティン三重と統一チームを作り活動を再開させていきます。